記者発表

地域を“みず”から守る。
東北流域治水

令 和 5 年 3 月 10 日

国土交通省宮城南部復興事務所

令和4年度 第3回「阿武隈川水系内川流域 土砂・洪水氾濫対策技術検討会」を開催しました【報告】

～ 内川・新川・五福谷川の遊砂地構造が決定! 次年度から工事に本格着手 ～

去る3月2日(木)に東北地方整備局(仙台市)において、令和4年度第3回「阿武隈川水系内川流域 土砂・洪水氾濫対策技術検討会」を開催しました。

今回の検討会では水理模型実験による施設の安全性検証等を踏まえた遊砂地の最終構造及び、遊砂地維持管理計画(案)について、専門家から技術的助言をいただきました。

今回の審議で遊砂地の最終構造が承認され、次年度から各遊砂地工事が本格着手します。

◆開催日時: 令和5年3月2日(木) 15:00 ～ 17:00
◆開催場所: 東北地方整備局 水災害予報センター (仙台市青葉区本町3-3-1 仙台合同庁舎B棟 13F)
◆委員名簿: 〔別添1〕参照
◆主な議題: 遊砂地の最終構造、遊砂地維持管理計画(案)、次回以降の検討会スケジュール〔別添2〕参照

【令和4年度 第3回検討会での主な意見】

① 水理模型実験及び数値計算シミュレーションによる結果を踏まえ、最終構造として問題ないと判断。
② 遊砂地維持管理計画(案)の検討については、全国的にも維持管理基準の策定が少ない中、先進的に取り組まれており、具体的なモニタリング項目や遊砂地内の除石頻度など、ライフサイクルコストを考慮した、より実践的な検討を次年度以降も引き続き行うこと。

【次回開催予定】

開催時期等: 令和5年度の秋以降、丸森町内で開催予定
検討会内容: 遊砂地工事の進捗状況、土砂流出モニタリング状況、遊砂地維持管理計画(案) 等

【検討会の目的】

・阿武隈川水系内川流域では、令和元年東日本台風において、土石流、土砂・洪水氾濫により甚大な被害が発生したことから、特定緊急砂防事業により、河川計画と整合のとれた一定の砂防計画に基づく、短期的、集中的に砂防施設整備を令和2年度から実施しております。
・本検討会では、阿武隈川水系内川流域の土砂・洪水氾濫対策に係わる計画、設計、施工等について、専門的知見から技術的助言をいただくことを目的として設置するものです。

【宮城南部復興事務所 Web写真展の開催】

宮城南部復興事務所では災害伝承の取り組みの一環として、SNSを通じて丸森町の被災前の風景や令和元年東日本台風の災害状況などの写真や動画を広く募集しました。今般、提供いただいた写真等を下記URLに掲載しておりますのでご参照ください。〔別添3〕参照

＜ 宮城南部復興事務所トップページ ⇒ まるもり つなぐ、つたえる のバナーをクリック ＞

URLはこちら⇒ https://marumori-gallery-mlit.jp/

発表記者会:白石記者クラブ、宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 宮城南部復興事務所

宮城県伊具郡丸森町字除北20番地 電話:0224－51－8290(代表)

副所長(技術) 斎藤(さいとう) 巧(たくみ) 建設専門官 松田(まつだ) 宏一(こういち)

〔別添１〕

土砂・洪水氾濫対策技術検討会　委員名簿

（氏　名）	（所 属 等）
井良沢　道也	岩手大学　名誉教授
内田　　太郎	筑波大学　教授
小森　　大輔	東北大学　准教授
山越　　隆雄	国土技術政策総合研究所 土砂災害研究部 砂防研究室長
大森　　隆博	宮城県　土木部　副部長
後藤　　孝二	宮城県　大河原土木事務所長
髙橋　　秀	東北地方整備局　河川部　広域水管理官
水越　　崇	東北地方整備局　宮城南部復興事務所長

（順不同）

令和4年度 第3回（第6回）「阿武隈川水系内川流域 土砂・洪水氾濫対策技術検討会」について

〔別添2-1〕

■ 令和5年3月2日（木）に令和4年度第3回（第6回）「阿武隈川水系内川流域 土砂・洪水氾濫対策技術検討会」を東北地方整備局（仙台市）で開催しました。（出席者：学識者・東北地方整備局・宮城県・コンサルタント　約30名）

■ 今回の検討会では、水理模型実験を踏まえた遊砂地構造の最終確認、遊砂地維持管理計画（案）等について意見交換を行いました。

＜ 検討会委員（8名）＞ （記載は順不同）

・井良沢 道也（岩手大学名誉教授） ・内田 太郎（筑波大学教授） ・小森 大輔（東北大学准教授） ・山越 隆雄（国総研土砂災害研究部砂防研究室長）
・大森 隆博（宮城県土木部副部長） ・後藤 孝二（宮城県大河原土木事務所長） ・髙橋 秀（東北地整河川部広域水管理官） ・水越 崇（東北地整宮城南部復興事務所長）

検討会場の様子（意見交換）

水理模型実験の動画や数値計算シミュレーション結果を踏まえた、遊砂地の最終構造と遊砂地維持管理計画（案）に対する技術的助言を伺いました。



▲検討会会場の様子

【 次回開催予定 】
・開催時期等： 令和5年度の秋以降、丸森町内で開催予定
・検討会内容： 遊砂地工事の進捗状況、土砂流出モニタリング状況、遊砂地維持管理計画（案） 等

検討内容（参考抜粋）



▲水理模型実験の状況を動画で確認（五福谷川遊砂地）

水理模型実験により、内川、新川、五福谷川の遊砂地で土砂を捕捉・満砂した場合を想定し、施設の安全性検証を実施。

実験水位が遊砂地から溢水しないことを確認。

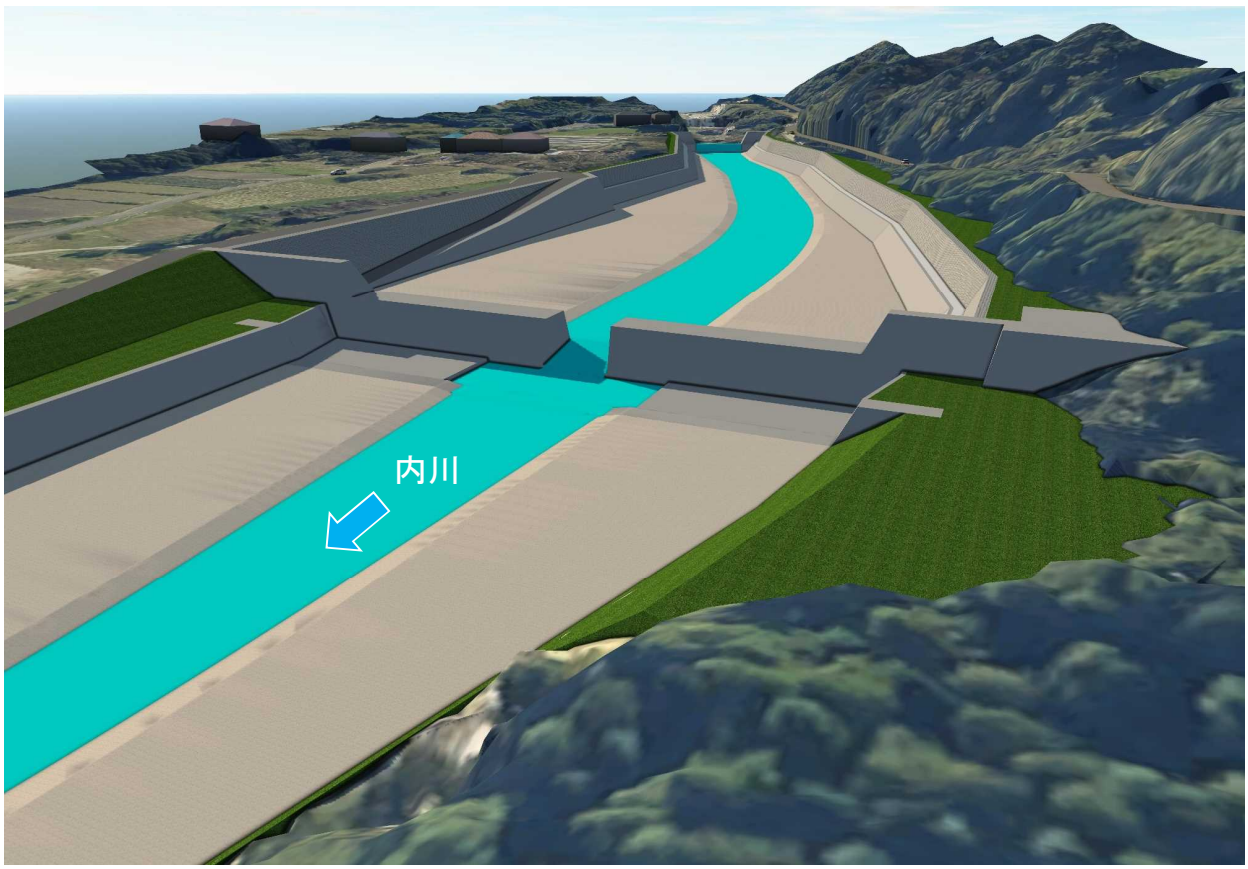


▲数値計算シミュレーションによる遊砂地内の土砂堆積予測 （内川遊砂地）

数値計算シミュレーションから除石を行う基準値（堆積土量）や頻度を検証。

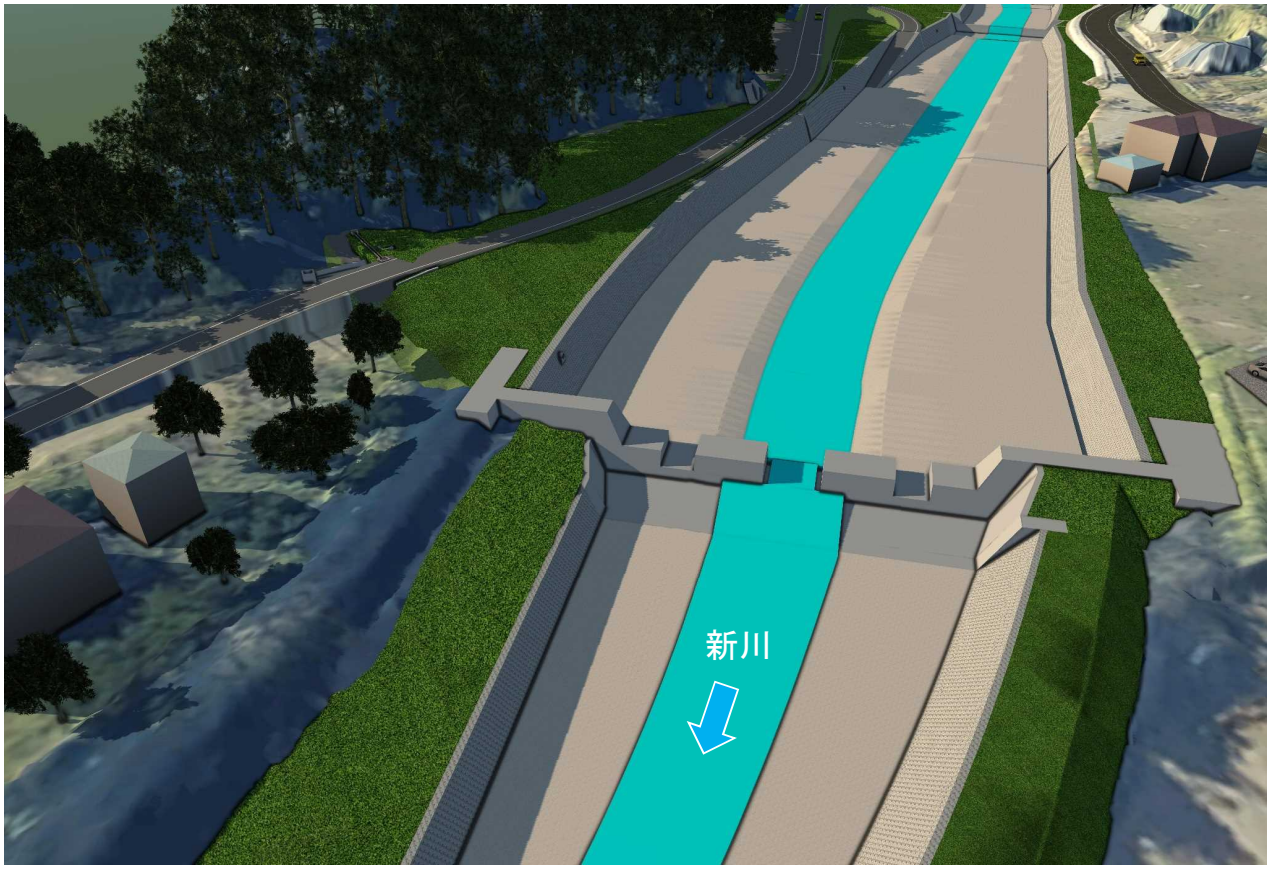
次年度以降も現地での土砂流出モニタリングを踏まえ、維持管理計画の検討を継続実施。

内川遊砂地完成イメージパース

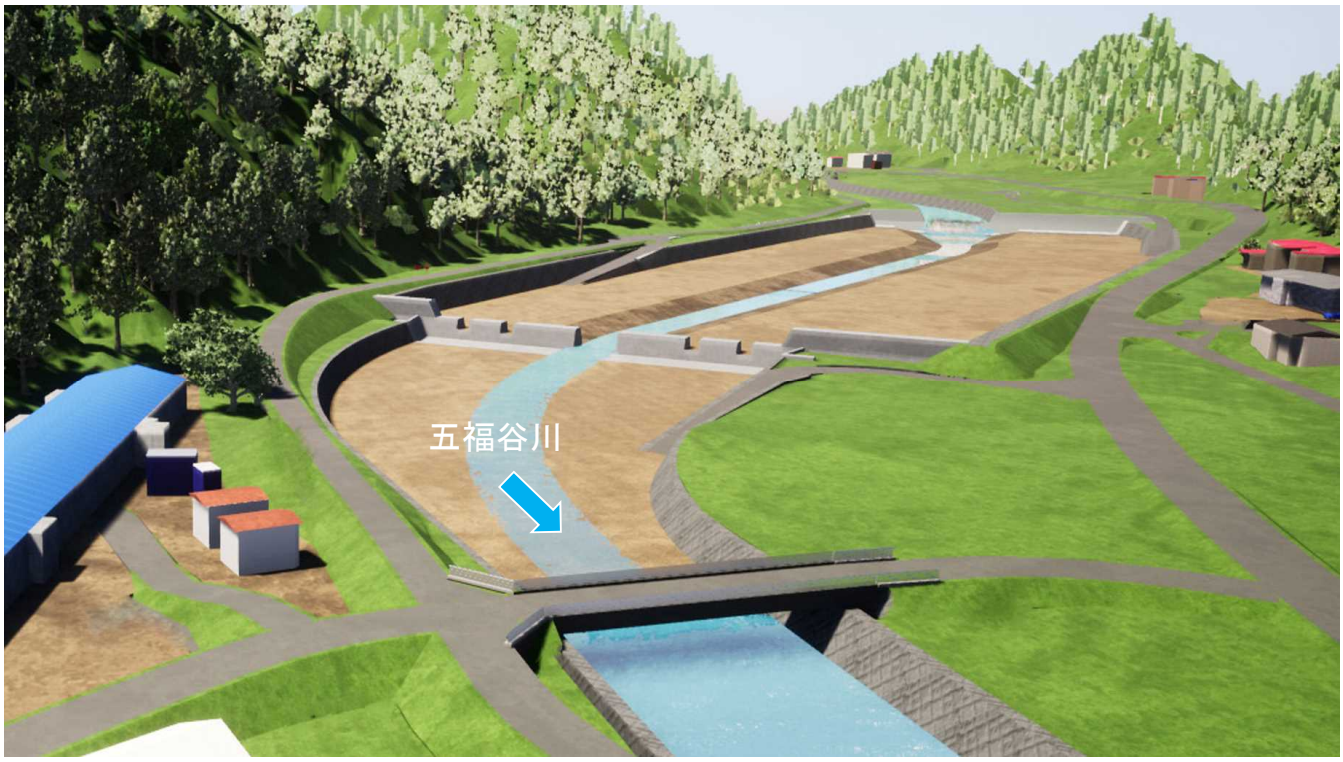


新川遊砂地完成イメージパース

〔別添2-2〕



五福谷川遊砂地完成イメージパース



住民からの写真収集～Web写真展開催について

〔別添3〕

■ 災害発生から3年が経過し、住民がスマートフォン等で撮影した写真等、貴重な資料が滅失する可能性を踏まえ、利用率が高く、操作も簡便な『LINE』『Twitter』上に特設サイトを設け広く写真(災害時、災害前後)の提供を呼びかけました。

■ 丸森町民のほか、ボランティアで丸森を訪れた方10名から、計227点の静止画、4本の動画の提供を頂き、写真は『Web写真展』として事務所HPで公開し、その後の災害伝承の取り組みにも活用します。(令和5年2月27日～3月下旬予定)

LINE上「写真募集」サイト



Twitter上「写真募集」サイト



活用

丸森町観光協会サイト　等にもリンクし、認知拡大

サイトに直接写真を投稿いただけるシステを構築

住民・ボランティア等　　災害時の写真保有者

事務所HP内Web写真展

まるもり－つなぐ、つたえる みなさまから寄せられた丸森町の写真



Top頁

TOPページ
投稿写真を一覧で表示
①全エリア、②丸森市街地
③丸森地区　④小斎・金山地区
⑤その他の地域　のタブ設定

対比写真頁☛

投稿いただいた写真のうち27点については、現状写真や解説等を加え、被害の状況を分かりやすく発信しています。

撮影場所の特定等には、災害時、高校生ボランティアとして活動したSさん(丸森町出身)がLINEを通じて、協力を申し出てくれました。SNS活用のひとつの効果と言えます。





住民からの写真収集～Web写真展開催について



